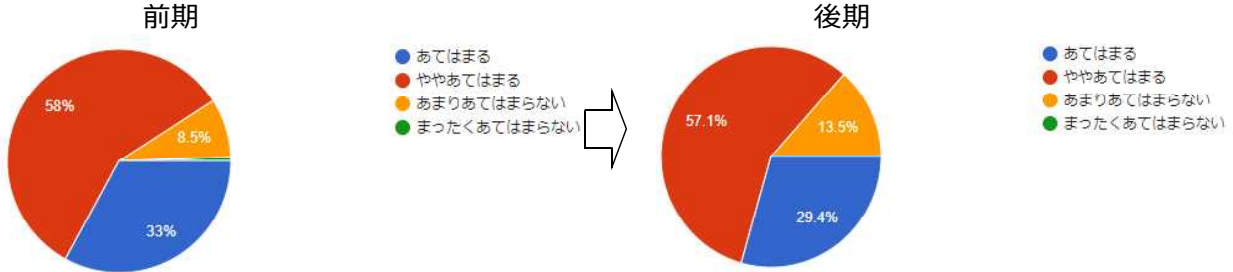


回収率	1年	2年	3年	回答
1回目	56%	64%	58%	A:あてはまる B:ややあてはまる
2回目	44%	49%	33%	C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない

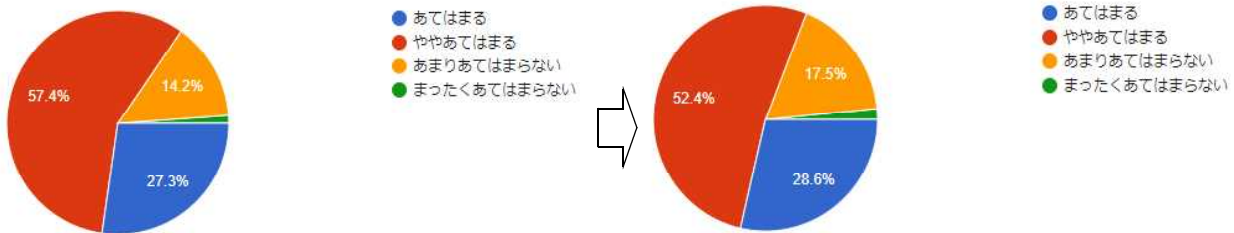
1 教師は、授業の中でお子様が関わり合う場面を意図的に設定していた。
前期

No.1



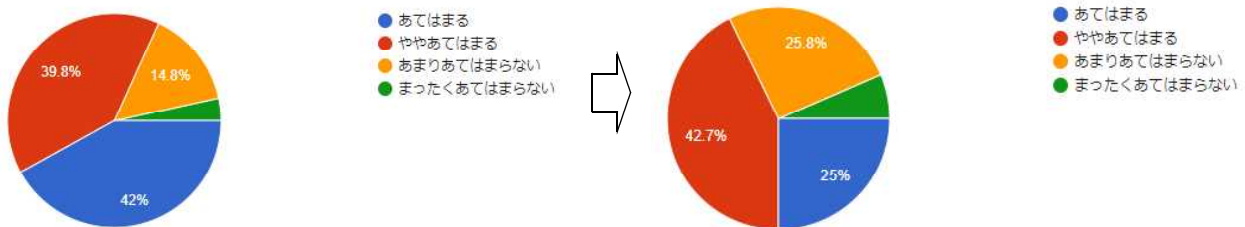
学校の今年の組織目標は、「共に学び磨き合える生徒の育成」です。アンケート結果では、生徒・保護者・教師ともに、肯定的な考えの割合が前期・後期80%を越えました。感染症対策を講じながら、協働的な学習を進めてきた成果と捉えます。これからも授業内容をさらに工夫し、日頃の学習の様子を分かりやすくお伝えしていきたいと考えます。

2 教師は、分かる授業を展開して、お子様の学力を向上させていた。



新しい学習指導要領の完全実施に伴い、主体的に学習に取り組む態度の育成を大切にした授業づくりを行っています。生徒の結果では、A+Bの割合が9割近くになっています。伝え合い深め合う学習形態の工夫や、知識及び技能を活用し定着する場の改善など、生徒が分かる喜びを実感できるような授業を目指します。

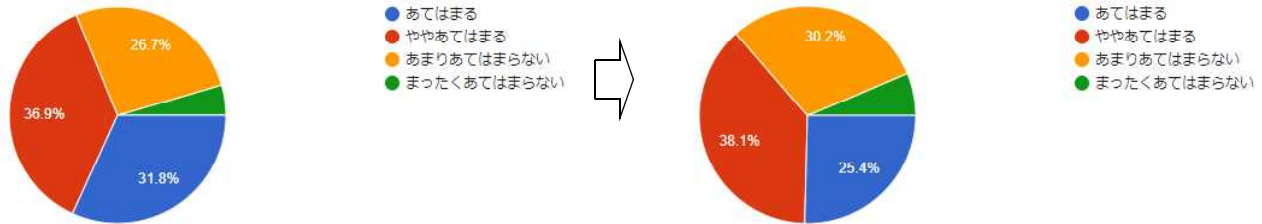
3 お子様は、ICT機器（クロームブック）などを活用し、課題を解決したり、自分の学びを振り返ったりしていた。



今年度は、ICTの活用と振り返りに重点を置き、授業改善と学力向上に取り組んでいます。生徒の結果では、A+Bの割合が9割を越えています。今後は、授業の様子についてのお知らせを増やして、保護者の皆様に学習のねらいや生徒の取組が伝わるように努めていきます。

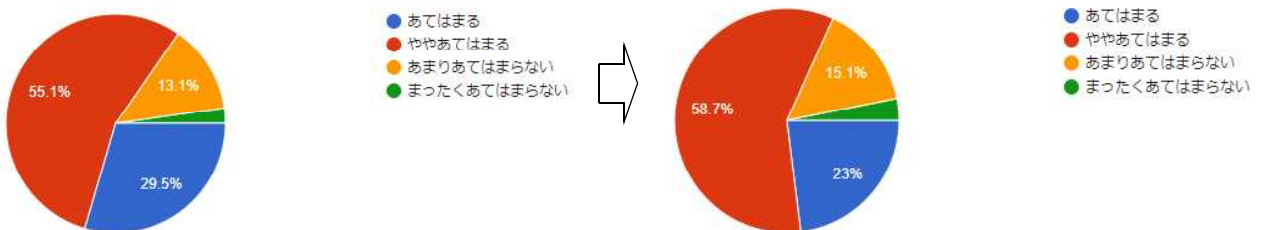
4 お子様は、予習や復習など、家庭で学習に取り組んでいる。

No. 2



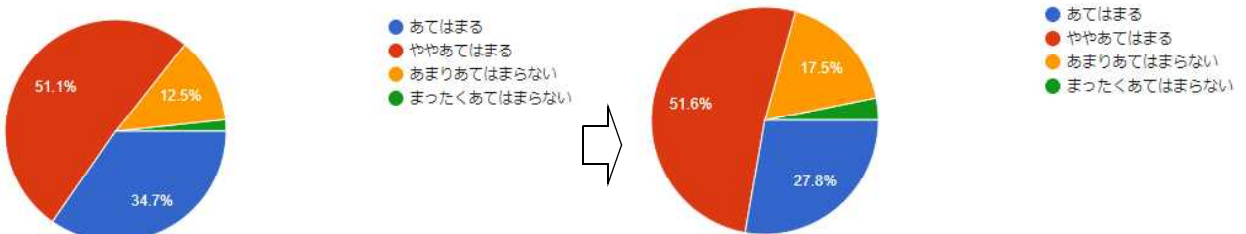
A+Bの割合が65%前後にとどまっていますが、生徒アンケートでは80%に達しています。3年生は進路実現に向けて、1・2年生においても1年後、2年後を見据えて、キャリア教育を実施していますが、体験的活動等の制限により意識を高める難しさを感じています。今後も効果的な予習復習のしかたについて指導を進めていきます。

5 学校は、道徳の授業を計画的に行い、生徒の豊かな心を育てている。



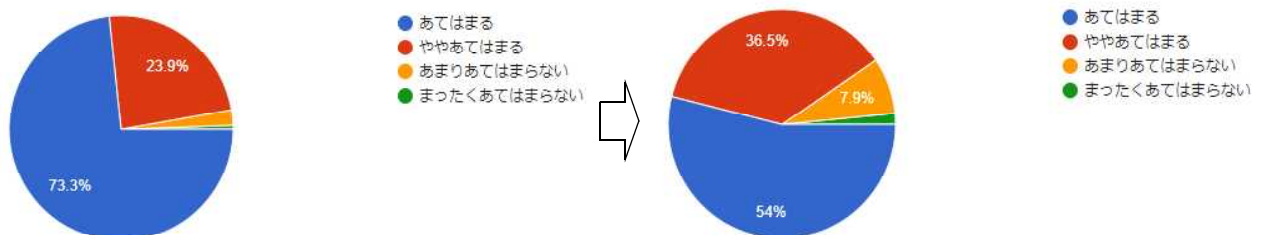
授業参観や自由参観時に道徳科の授業を公開できなかったのが、ご回答が難しかったと思います。道徳科の教科書・ノートを活用し、自分に置き変えて考えたり、友達と意見を交流したりしながら考えを深める授業を実践しています。また、中根台中学区小中一貫教育として、道徳コーナーや指導計画についての共通理解をもち、9年間を通した指導を行っています。

6 学校は、生徒が主体となるよう、学校行事や生徒会活動、学級活動に取り組んでいる。



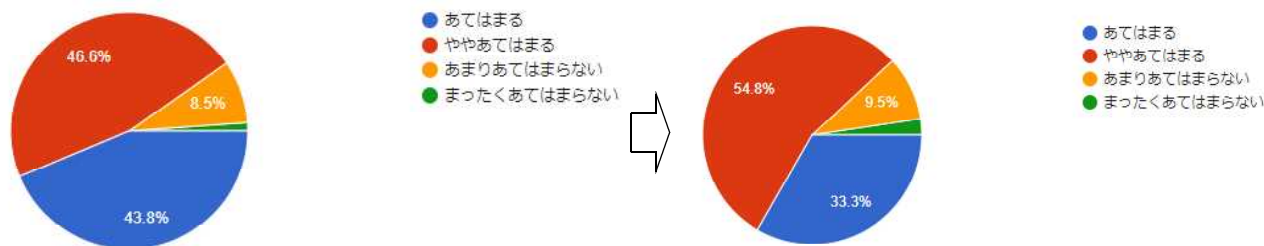
生徒の結果を見るとA+Bの割合が82%で、昨年より約20%高まっています。今年度は、限られた条件の中でできることを考えながら、可能な限り生徒の意見を取り上げ、ねらいの達成に向けて工夫した取組を行ってきました。今後も生徒たちによる学校行事の運営等を全職員で支援し、生徒主体の活動をさらに活性化していきます。

7 お子様は、時間を守って学校生活を送ることができた。(登下校を含む)



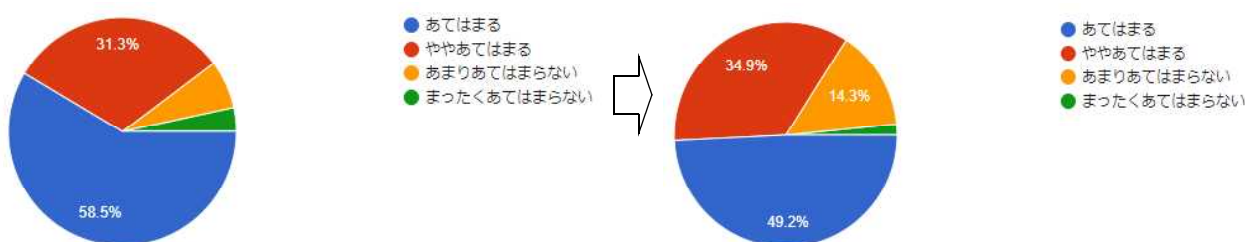
本校には「時を守り」「場を清め」「礼を正す」という学校生活の基本方針（基本的な生活習慣）があります。中でも、時を守るということについては、2分前行動を目安に生徒も教師も心に留め努力している内容です。他の結果よりも全体的に結果がよくAの割合も高いのは、その現れだと考えます。

8 学校は、清掃の指導を継続的に行い、お子様に場を美しく保つことを習慣付けることができた。



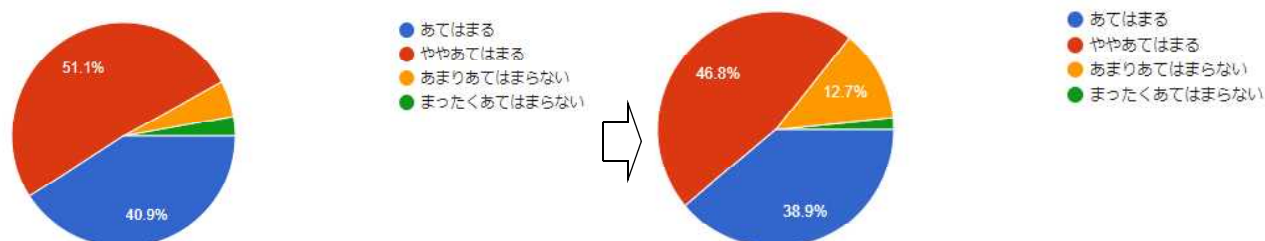
学校生活の基本方針である「場を清め」です。本校では清掃を「黙勤」で行っており、学区内小学校と一貫した指導に取り組んでいます。3年生が手本を示し、心を落ち着かせて自らに問いかけ清掃を行っています。また、密を避けるため、学級ごとに清掃を行うことで、集中が増しました。

8 お子様は、家庭内で自ら進んで挨拶をしている。
(おはよう、行ってきます、ただいま、おやすみ…)



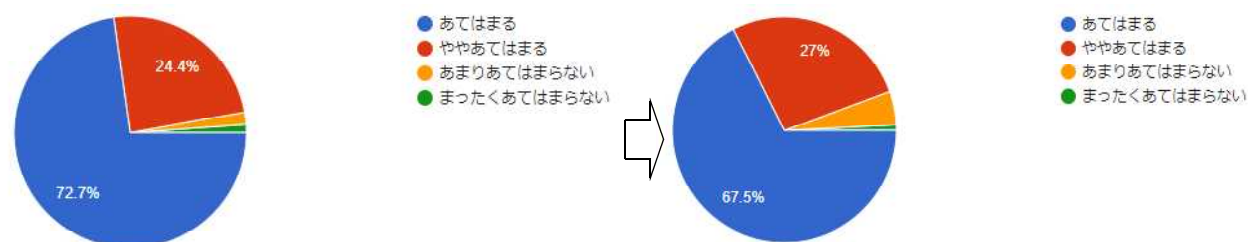
ほとんどの生徒は、自らあいさつできていると保護者の皆様に認められています。学校においても、さわやかなあいさつができる生徒が9割を占めています。さらに、良好なコミュニケーションを図る言葉掛けができるよう、職員自らもモデルとなるよう努めていきます。

9 教職員は、生徒と関わりながら、生徒の個性を理解しようとしている。



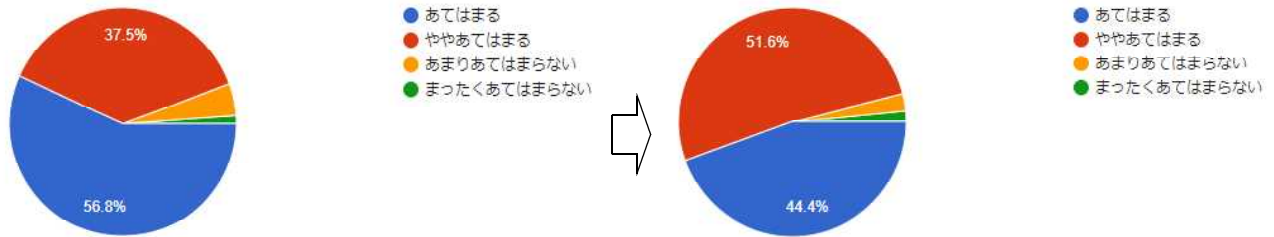
前期の肯定的な評価が約9割でしたが、後期の評価は全体的に下がっています。今年度は、多様性（LGBTQ+,ダイバーシティ）や生徒理解についての職員研修を行いました。今後も一人一人との関わりを大切にして、学習指導や生活指導、進路指導に努め、保護者の方々と情報交換を密にしながらい生徒理解に努めていきます。

10 お子様は、いじめのない学校生活を送っている。



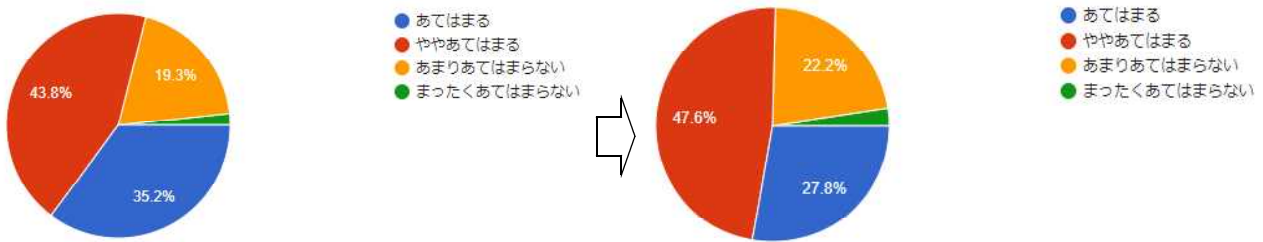
ほとんどの保護者の皆様に、中根台中学校ではいじめのない学校生活が送れていると感じていただいています。いじめについては本校でも必ず起きうると捉え、常に安全・安心な学校づくりに努めていきます。今後いじめ根絶に向け、保護者の皆様と協力しながら、未然防止、早期発見・早期対応を全職員で行っていきます。

1.1 お子様は、友達と助け合い、他者を尊重しながら学校生活を送ることができている。 NO.4



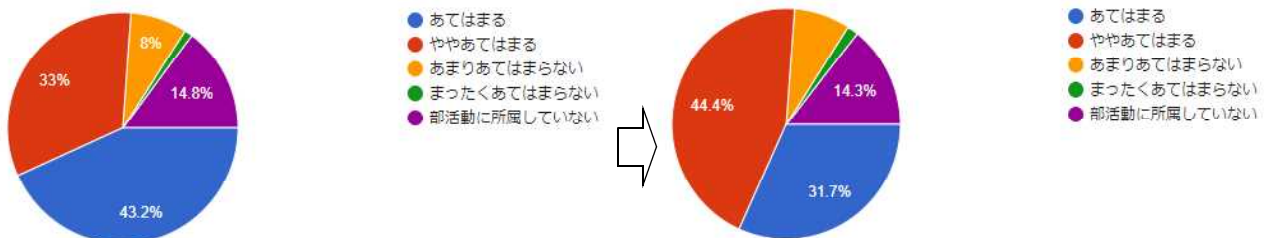
全学年でA+Bの割合が9割を超えています。多くの保護者の皆様に、評価していただきました。今後も生徒同士が関わり合う場を設定し、支え合うよさを実感できるようにし、「助け合い」のたくさんある学校づくりに努めます。

1.3 お子様は、自分のよさを活かしながら、夢や目標に向かって頑張っている。



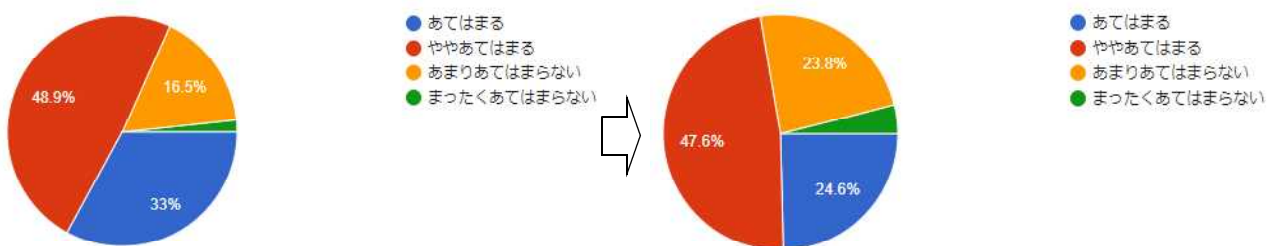
中根台中学校区では、小中一貫教育のテーマに「夢を語り 学びをつなぐ 学校づくり」を掲げてます。また、龍ヶ崎市で取り組んでいる「龍の子人づくり学習」においても、個人目標を立て、日々の活動に取り組み、振り返りを通して、自己の成長や頑張りの自覚を促しています。保護者の方と情報共有しながら、生徒が自己の成長を実感できるように努めます。

1.4 お子様は、部活動に進んで取り組み、心も体も成長している。(入部者のみ)



3年生は総合体育大会やコンクール、1・2年生は新人戦に向けて意欲的に部活動に取り組みました。一方で、感染症拡大防止のため、活動を制限する期間も多くなりました。中学校生活の中で大きな意味をもつ部活動ですので、各種団体の感染症対策ガイドラインに則り、今後も充実した活動となるよう学校全体で工夫していきます。

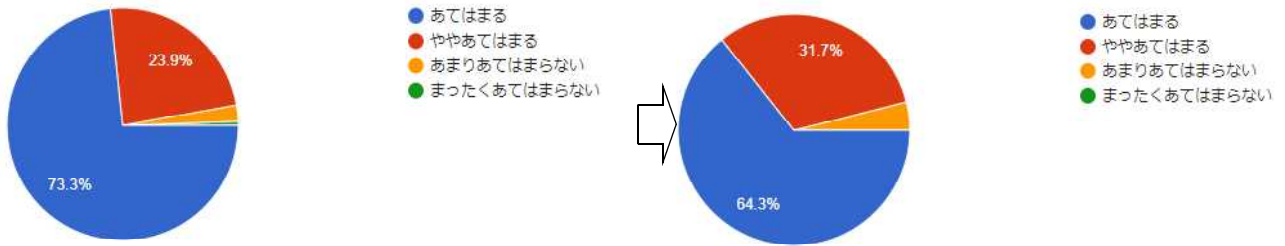
1.5 学校の教育活動の内容や生徒たちの様子が家庭に伝わっている。(学校だより・学年だより・ホームページなどから)



前期はA+Bが約8割ですが、後期は約7割に減少しています。学校だより、学年だよりとともにホームページを充実させたり、メール配信を活用したりし、学校の様子を分かりやすくお伝えする努力をしています。

1.6 教職員の電話や職員室での対応の仕方は丁寧である。

N0.5



保護者の皆様からの電話や来校時の対応については、本校の信頼度にも関係する重要なことです。高い評価が見られますが、これからも研修を重ね、丁寧に対応できるよう努力していきます。